

いづも財団設立10周年!



いづも財団が設立以来10年間に県内外に情報発信した著書・報告書・会報

財団いづも

第20号

発行所
 公益財団法人いづも財団
 〒699-0701
 島根県出雲市大社町杵築東283
 大社國學館内
 TEL 0853-31-4346
 FAX 0853-31-4348
 info@izumozaidan.or.jp
 編集発行人
 山崎 裕二



いづも財団設立十周年
原点を踏まえて

副理事長 江口 博晴

いづも財団は、出雲大社「平成の大遷宮」を記念し、その浄財の一部を基金とし、平成二十三年九月三十日に「一般財団法人」として産声を上げました。今から十年前のことです。

その後、県から「公益財団法人」の認定を受け、平成二十四年三月一日から「公益財団法人いづも財団」となり、個人会員・法人会員の皆様の協力を得ながら今日に及んでいます。年二回発行している会報も、今号で第二〇号を迎えました。

会報の創刊号の巻頭言（丸磐根理事長）には、当財団の設立目的を次のように高らかに宣言しています。少し長文になりますが、引用します。

この財団は、山紫水明で穏やかな日本の自然を守り育て、遙か先人たちから連綿として引き継がれてきた伝統文化を保全継承し、その活用に努めるとともに、国宝出雲大社御本殿をはじめ県内の神社仏閣の建造物、儀礼及び祭事等を

保全する助成活動を通じて、それぞれの地域の再生と活性化を図る様々な事業を展開します。

当財団では、この設立目的に沿って、これまでに様々な事業を展開してきました。永続的の事業として、「出雲」文化の探求・保存継承事業、県内外への発信事業、また伝統文化を生かした地域の活性化事業や鎮守の森保全事業などです。

特別事業としては、「高円宮コレクションと石見根付展」（平成二十五年）、「高円宮妃殿下 鳥の写真とボンボニエール展」（平成二十六年）などを開催しました。また「ふるさとの森」再生事業は、今も継続しています。いずれも皆様方からは高い評価をいただき、所期の目的を達成しつつあるように思います。

設立十周年を迎えた今日、新型コロナウイルス感染症拡大防止等などの影響もあり社会状況も少しずつ変化していますが、今後も原点に立ち返り、諸事業を進めて参りたいと考えております。

公開講座
「出雲の歴史文化を学ぶ！」を開講

昨年度はコロナ禍のために公開講座を一年間休止しましたが、今年度から再開しました。テーマは「出雲の歴史文化を学ぶ！」です。出雲の原始・古代から近現代までの歴史文化を、これから六年間、合計六〇回の講演をとおして学びます。

今年度はその第I期で「原始・古代出雲の歴史文化を学ぶ」です。これまで、第二回講座まで終了しましたが、その概要をお知らせします。

第一回講座 (令和三年五月二十二日(土)) 受講者数 七六名

会場：大社文化プレイスうらら館

主題 出雲平野の形成と縄文人のくらし

演題A 河川堆積と火山噴火で出来た出雲平野

講師 中村 唯史 先生 (三瓶自然館サヒメル学芸員)

中村先生には、出雲地域の数百万年前から四千年前までの地形の推移をお話いただきました。七千年前の縄文時代には海面が上昇し地形に変化が見られたこと、また気温が上昇し植生が変化したことを教えてくださいました。四千年前には三瓶山の噴火によって大量の土砂が斐伊川・神戸川に流入し、出雲平野の原形が出来上がったことなどを図や写真を使って、わかりやすく教えていただきました。このような私たちが日常生活している「歴史の舞台」に関する講演は、当財団の公開講座では初めてのことであり、受講者の皆様は新鮮な驚きがあったと思います。



演題B 出雲の縄文人が欲しがった隠岐の黒曜石

講師 宍道 正年 先生 (宍道正年歴史研究所代表)



宍道先生は、まず県内の縄文時代遺跡が六〇〇カ所あることや生活が狩猟、採集、漁撈を組み合わせたものであることを教えていただきました。生活の中で、重宝された道具は切れ味の鋭い黒曜石こくようせきでした。ただこの黒曜石は、隠岐の島でしか産出されないために、出雲の縄文人たちは命を賭して海を渡って本土に持ち帰りました。

宍道先生は、黒曜石を使った実演をとおして、具体的に黒曜石の威力を見せていただきました。この講演には、現職教員や元教員の聴講が多数ありました。



第二回講座 (令和三年七月十七日(土)) 受講者数 六二名

会場：大社文化プレイスうらら館

主題 農耕の展開と出雲平野のムラムラ

演題A 原山 (大社町) に生きた人々と出雲平野の開発

講師 坂本 豊治 先生 (出雲弥生の森博物館学芸員)

坂本先生は、大社町にある原山遺跡が山陰最古の弥生遺跡であることを土器や石器をとおして、わかりやすく話していただきました。その後、弥生時代には近辺の四絡・塩冶・古志・神



西などの地域が開発されていきましたが、これらの地域が今日でも出雲市の中心区域になっていることに驚きました。弥生時代と現代とがつながっていることを実感しました。受講者の皆様もきっと同様のことをお考えになったのではないかと思います。

演題B 三重の環濠をもつ田和山遺跡の謎

講師 松本 岩雄 先生(八雲立つ風土記丘顧問)



田和山遺跡は松江市の高台にある三重の環濠をもつ特異な遺跡として知られていますが、出雲市民にとっては馴染みが薄いと思われます。そこで、松本先生は「田和山町の命名の由来」など身近な話題を取り上げながら、話を進められました。また、大社造りと同じ九本柱の建築物跡の謎、三重環濠の謎、石板硯の謎など、多くの謎に包まれた遺跡であることも教えていただきました。受講者にとって、謎解きの面白さがあつたように思います。

役員改選!

新理事に田部長右衛門氏、新評議員に久保田一朗氏、高橋日出男氏が就任

二年間の理事の任期が令和三年度第一回理事会で満了することから、理事の改選がありました。田江泰彦氏(元松江商工会議所副会頭)が勇退されることとなり、代わって田部長右衛門氏(島根県商工会議所連合会会頭)が新理事に推薦され、これから二年間の任期満了まで、理事として活動されることとなりました。したがって、向こう二年間の理事は次のようになります。

- 理事 長 古瀬 誠 (松江商工会議所名誉会頭)
- 副理事 長 江口 博晴 (元島根県副知事)
- 副理事 長 千家隆比古 (出雲大社権宮司)
- 理 事 江田 小鷹 (出雲商工会議所名誉会頭)
- 理 事 田部長右衛門 (島根県商工会議所連合会会頭)
- 常務理事 山崎 裕二 (公益財団法人いづも財団事務局長)

また、評議員の石飛善和氏(前島根県商工会連合会会長)と田部長右衛門氏が任期途中で退任されたために、評議員会の議決を経て、高橋日出男氏(島根県商工会連合会会長)と久保田一朗氏(山陰合同銀行特別顧問)が就任されることとなりました。任期は前任の残任期間の令和五年の評議員会までとなっています。

いづも財団

助成金交付事業報告集7を発刊!

去る九月二十七日に、平成三十年度の当財団の助成事業報告集が完成し、関係する島根県の各部署や県内の市町村、並びに関係団体に送付しました。冊子には当財団が助成した重要文化財菅田庵の保存修理事業(三〇〇万円)や出雲市指定文化財の佐志武神社神事華・神事舞の子ども衣装新調事業(三五万円)など一四事業の終了報告が掲載されています。



いづも財団叢書第八号 『島根の祭りと民俗芸能』を発刊!

また十月一日には、いづも財団叢書第八号を刊行しました。これは、令和元年度に当財団主催の公開講座の内容をまとめたものです。出雲・石見・隠岐の著名な祭りとそれに供される芸能の由来について述べています。具体例として、出雲のお田植神事・盆踊り歌・佐陀神能、石見の津和野踊り・大元神楽、隠岐の田楽・牛突き・巫女神楽などを取り上げています。本書は今井書店か県立古代出雲歴史博物館売店で販売しています。また通販でも取り扱っています。



令和3年度 いづも財団助成金交付先一覧

令和3年度の当財団の助成事業に関して公募したところ、島根県内の団体・個人から12件の申請がありました。8月19日(木)から専門家による申請書の精査を経て、10月4日(月)の理事会で次のとおり12件の交付先が決定しました。

部門名	No.	事業名	申請団体名	助成決定額
1「出雲」文化の探求	1	『益田古文書を読む会成果報告書2』出版事業	益田古文書を読む会 会長 寺戸 和幸 (益田市)	12万円
	2	「第19代大森代官井戸平左衛門正明公 大田市内の頌徳碑総覧」の出版事業	大田市文化協会 会長 石賀 了 (大田市)	30万円
2「出雲」文化の保存継承	1	重要文化財「櫛匂威鎧残闕(はじにおいおどしよろいざんけつ)」修理事業	かんなび 甘南備寺代表 左右田 玉歩 (江津市)	15万円
	2	松江市指定文化財 田原神社随神門 保存修理事業	宗教法人 田原神社 宮司 藤脇 兼三 (松江市)	300万円
3 伝統文化を活かした地域の活性化事業	1	『出西ふるさと読本』の出版事業	『出西ふるさと読本』編集委員会 委員長 神門 保雄 (出雲市)	30万円
	2	～2022 祝 石見銀山世界遺産登録15周年 祝 日本遺産 石見の火山が伝える悠久の歴史～ オペラ「石見銀山」	オペラ「石見銀山」実行委員会 実行委員長 内藤 芳秀 (大田市)	44万円
	3	竹細工教室(歴史がある竹籠づくりの伝承)	多伎文化伝習館運営委員会 会長 鳥屋尾 晋 (出雲市)	16万円
	4	鎮守の森保存助成事業	高橋家保存右近の橘植樹奉賛会 会長 小林 祥泰 (出雲市)	50万円
	5	鎮守の森保存助成事業	宗教法人 忌部神社 代表役員 和田 統彦 (松江市)	20万円
	6	知夫村天佐志比古命(一宮)神社鎮守の杜整備事業	知夫村環境美化推進協議会 会長 向濱 樽幸 (隠岐郡知夫村)	40万円
	7	天然記念樹の樹勢回復、樹木の剪定	すみまるやま 隅丸山八幡宮総代長 村上 覚 (益田市)	46万円
	8	熊野神社鎮守の杜整備事業	宗教法人 熊野神社 代表役員 花田 史朗 (出雲市)	50万円

事業期間 令和3年10月1日～令和5年9月30日(最長2年間)

計653万円

「ふるさとの森再生事業」のあゆみ①

平成23年に設立した「いづも財団」は令和3年度に10周年を迎えましたが、特別事業として実施している「ふるさとの森再生事業」についても、財団設立当初から実施に向けた計画・相談をおこなっています。そこで10周年の節目に際し、現在までの同事業のあゆみを、次号にわたって振り返ってみたいと思います。

平成23年度

平成25年に本殿遷座祭を斎行する出雲大社「平成の大遷宮」を記念し、財団の特別事業の柱として鳥根県内の荒廃した森林の再生事業を計画。鎮守の森を理想とし、広葉樹を中心とした「ふるさとの森再生事業」を実施するにあたり、まずは鳥根県森林整備課に相談した。その後、県森林整備課、県中山間地域研究センター、出雲市森林政策課の担当者と事業検討会を実施し、本事業遂行の仕組み作り、広葉樹育成の技術的問題、県内森林の現状と実施対象などについて、様々な検討をおこなった。



▲多様な樹種による階層的な森林

平成24年度

今までの造林事業はマツ・スギ・ヒノキ等の針葉樹の育成が中心であり、県内には広葉樹育成のノウハウがなかった。そのため出雲市の協力のもとモデル林を定め、県中山間地域研究センターに委託して試験的な事業を行い、森林内の状況や技術的なデータを収集した。そのうえで、どのような山林を本事業の対象とするべきか、各地の山林調査を実施。その結果、マツ枯れ跡地、単調な樹種林（多様な広葉樹林の育成）、更新困難地、荒廃人工林を対象とした。



▲事業対象候補の現地調査

また可能な限り県内産苗の使用を希望したが、造林が針葉樹中心のため広葉樹苗は生産樹種・量が少なかった。そこで県森林組合および県種苗組合に協力を依頼し、今まで育てたことのない樹種の広葉樹苗育成にも取り組んでいただいた。



▲出雲市モデル林調査

そして本事業の実施にあたっては、鳥根県（しまね森林活動サポートセンター）が行うCO2吸収認証制度を活用させてもらうこととなる。本財団が希望する森づくりを同センターへ事業提案し、各市町村を事業主体として事業候補地の募集を行った。ただし上記のように、広葉樹を中心に育成する県内では殆んど前例のない事業のため、松江・浜田・隠岐で各市町村担当者を対象に事業説明会を実施し、事業内容を理解していただいたうえで応募をお願いした。



▲広葉樹苗育成状況調査

事業初年度（平成25年度）の応募は8市町村11地区からあった。その計画をまず財団事務局で審査し、そのうえで学識経験者を交えた助成金交付選定委員会を実施して、計画および金額について審査をした。その委員会での結果を踏まえて財団理事会で審議し、最終的に7市町村7地区で実施することが決定した。

(次号へ続く)

令和三年度会員名簿

(十月三十一日現在)

法人会員

Table listing members categorized by '法人会員' (Corporate Members) and '個人会員' (Individual Members). Each entry includes the member's name, address, and affiliation.

金本晋也(出雲市)	桑原健一(出雲市)	杉谷桂子(出雲市)	高橋朋子(東京都)	中尾克行(出雲市)	把野光貴(福岡県)	伏見利雄(神奈川県)	三原伸二(出雲市)
金本武光(東京都)	桑原 弘(松江市)	杉谷 城(奈良県)	高橋直裕(出雲市)	中尾健二(出雲市)	早川正樹(福岡県)	伏見梨花(神奈川県)	三原昌夫(出雲市)
金本英久(出雲市)	桑本 巖(出雲市)	杉谷寿之(出雲市)	高橋正和(出雲市)	中尾文江(出雲市)	林 秀樹(出雲市)	藤村八郎(出雲市)	三原道夫(出雲市)
祇山里花(広島県)	小池清尹(出雲市)	杉原敏之(松江市)	高橋成知(出雲市)	長岡 栄(出雲市)	林 幹夫(松江市)	藤本和人(山梨県)	三村智彦(東京都)
加村健悟(出雲市)	神門貞良(出雲市)	杉原元治(出雲市)	高見初彦(滋賀県)	永岡達朗(出雲市)	原 哲夫(出雲市)	藤本 祥(埼玉県)	宮崎照司(静岡県)
亀山美雪(出雲市)	神門真樹(出雲市)	杉本 照(和歌山県)	宅和京香(出雲市)	長岡義孝(東京都)	原 幹雄(出雲市)	藤本 剛(出雲市)	宮本壽充(出雲市)
嘉本直樹(出雲市)	高野恵衣(出雲市)	須佐和夫(出雲市)	竹下孝子(松江市)	長廻三枝子(出雲市)	春木英二(出雲市)	古川百三郎(出雲市)	宮本泰行(出雲市)
雁野 尚(松江市)	幸野谷昌人(京都府)	須佐公和(出雲市)	竹下正孝(出雲市)	中島隆三(京都府)	春木康弘(出雲市)	古瀬智彦(松江市)	森 眞史(松江市)
鳥田富夫(出雲市)	郷原 勇(雲南市)	鈴木登美子(神奈川県)	竹下忠孝(出雲市)	中島隆三(出雲市)	土方幸子(出雲市)	古瀬俱之(出雲市)	森田勝胤(高知県)
川上英次(東京都)	小椋小百合(出雲市)	鈴木益彦(松江市)	武田寿博(出雲市)	中島隆三(出雲市)	日野 正(出雲市)	古瀬麻美(出雲市)	森本直知(松江市)
川上英男(出雲市)	後藤 博(松江市)	須谷 洋(出雲市)	武田紀子(出雲市)	中島隆三(出雲市)	日野保朗(出雲市)	古屋勤士(出雲市)	森本 淳(松江市)
河上ゆう子(出雲市)	後藤昌弘(出雲市)	磯藤祥三(出雲市)	竹並 清(茨城県)	中島隆三(出雲市)	平井昭治(雲南市)	別所親房(京都府)	森山直知(出雲市)
川上幸信(出雲市)	小林一介(出雲市)	砂川孝子(出雲市)	多々納テツ子(出雲市)	中島隆三(出雲市)	平岡邦彦(松江市)	別所豊夫(出雲市)	森山真吉(出雲市)
川嶋ひろみ(和歌山県)	小林俊介(出雲市)	角 汎(出雲市)	多々納テツ子(出雲市)	中島隆三(出雲市)	廣澤將城(出雲市)	細木辰幸(雲南市)	森山由美(出雲市)
川島美美子(松江市)	小林祥泰(出雲市)	陶山 章(出雲市)	立久恵音頭保存会(安曇公美)	中島隆三(出雲市)	廣幡裕子(高知県)	細木辰幸(雲南市)	森脇哲之(松江市)
川谷琴子(出雲市)	古福 克彦(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花晃一(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福城桂子(出雲市)	本田 亘(出雲市)	
川谷誠一(出雲市)	小松博幸(出雲市)	妹尾淳也(出雲市)	立花佑祥(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
川谷貴大(出雲市)	木幡 均(松江市)	妹尾佳明(東京都)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
川谷美琴(出雲市)	斉藤聡次郎(出雲市)	妹尾佳明(東京都)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
川西正明(大阪府)	佐伯善巳(岡山県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
川本貢功(松江市)	坂根京子(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
神田 弘(兵庫県)	坂本正人(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
神田幸則(出雲市)	櫻井誠己(松江市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
木佐明宏(出雲市)	櫻井誠己(松江市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
岸野 恵(出雲市)	佐々木友子(大阪府)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
木次井悠介(出雲市)	佐々木博(北海道)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北井加代子(出雲市)	佐々木博延(浜田市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北井征二(兵庫県)	佐々木昌延(浜田市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北井康正(出雲市)	佐藤俊幸(埼玉県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北島建孝(出雲市)	佐藤康司(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北原郁子(松江市)	佐藤康平(大阪府)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
北吉チヨミ(大阪府)	佐藤辰巳(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
儀満京子(出雲市)	佐藤宣雄(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
木村 進(出雲市)	佐藤 陽一(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
木村博之(出雲市)	篠田孝紀(松江市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
共同店(大國美矢子)	篠原春夫(三重県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	志摩茂樹(山形県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	嶋岡智子(京都府)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	シマネヤ眼鏡店(飯島)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	健太(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	清水義久(神奈川県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	庄司和子(宮城県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	昌子宗賢(松江市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	新 博治(広島県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	新 安祐(広島県)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	新宮清弘(東京都)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	新宮基弘(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	六道正年(松江市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	進藤哲夫(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		
	新藤正春(出雲市)	妹尾圭人(出雲市)	立花直明(出雲市)	中島隆三(出雲市)	福田真香(出雲市)		

寄附
 出雲大社御遷宮奉賛会 (出雲市)
 大社史話会 (出雲市)
 吾郷統一 (出雲市)
 井上志帆子 (東京都)
 岡田春雄 (大阪府)
 喜和田公二 (出雲市)
 鈴木登美子 (神奈川県)
 高橋陽子 (滋賀県)
 廣田恵春 (出雲市)
 藤原秀彬 (出雲市)
 山崎裕二 (出雲市)
 若月剛久 (出雲市)
 若槻俊二 (出雲市)
 若月俊正 (出雲市)
 和田晶夫 (出雲市)
 和田耕一郎 (松江市)
 和田晋爾 (松江市)
 和田節子 (出雲市)
 和田統彦 (松江市)
 和田秀穂 (出雲市)
 渡邊憲治 (京都府)
 渡部しずか (出雲市)
 渡邊喬士 (出雲市)
 渡部輝之 (出雲市)
 渡部良治 (出雲市)
 渡部良平 (松江市)
 (個人会員 計六四四名)
 横山和明 (広島県)
 横山雅樹 (岡山県)
 吉川敏夫 (出雲市)
 吉川直喜 (出雲市)
 吉川實 (出雲市)
 吉田勝彦 (出雲市)
 吉田龍彦 (岡山県)
 吉田敏夫 (出雲市)
 吉田博晴 (出雲市)
 吉田ひろみ (岩手県)
 吉田安子 (出雲市)
 吉田利江 (雲南市)
 吉野直人 (岐阜県)
 吉野洋克 (出雲市)
 吉原每文 (東京都)
 珍部千裕 (神奈川県)
 米田拓朗 (出雲市)

あなたが支える「出雲」文化!

先人たちから受け継いだ美しい自然風土や歴史、伝統文化を現代に生かして地域の活性化に結び、それを子孫に橋渡しをする担い手になることを使命とします。

会員を募集しています!

◆入会について

会費は、年度制(4月～翌年3月)です。いつでも入会できます。

※「出雲」文化を愛する人は、どなたでも会員になれます。

(注)ここでいう「出雲」とは狭義の出雲ではなく、隠岐から石見までを含む幅広い地域を想定しています。

◆会員の種類・年会費

正会員(個人) 一口 2,000円 正会員(法人) 一口 20,000円 (何口でも結構です。)

◆会員の待遇

- 会員証をお送りします。
- 下記の協賛施設にて会員証を提示いただくと、優遇措置が受けられます。
 - ・出雲大社宝物殿(拝観料無料、翌年4月末まで有効です)
- 定期的に会報「財団いづも」をお送りします。
- 講演会・シンポジウム等の各種イベント開催のご案内をいたします。

◆入会方法

- 1、会員申込資料を電話かファックス、葉書、メールにてご請求ください。または、直接いづも財団事務局までおいで下さっても結構です。
- 2、送付された入会申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒またはファックスにてお送りください。
- 3、下記口座のいずれかへ会費をお振込ください。

【郵便局】(手数料はかかりません)

同封の郵便局払込票にてお振込ください。

郵便振替口座番号 01360-9-55417

口座名「公益財団法人いづも財団」

(コウエキザイダンハウジン イヅモザイダン)

【銀行】(手数料はご負担願います)

山陰合同銀行 大社支店 普通 3628973

口座名「公益財団法人いづも財団」

(コウエキザイダンハウジン イヅモザイダン)

お問い合わせ

〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東283 大社國學館内 公益財団法人いづも財団事務局
 電話: 0853-31-4346 FAX: 0853-31-4348 E-mail: info@izumozaidan.or.jp